

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	570 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	政策係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市地域公共交通計画(令和3年3月策定)			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図るため、策定した「つくば市地域公共交通計画」の進捗管理を行う。
概要 (取組内容)	つくば市地域公共交通計画に掲げられた基本理念「様々なデータや新技術で、人と人、まちとまちが“つながり”、未来へと“つながる”地域公共交通を目指して」と4つの基本方針に基づき14の指標を設定した。この指標の評価点検を実施し、国土交通省への報告を行う。なお、本計画の施策については、つくば市公共交通活性化協議会における審議案件となる。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	8,809	8,976	13,827	23,848	8,976	
	決算額	(千円)	7,920	8,943	13,805	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,920	8,943	13,805	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,974	6,375	7,664	7,334	7,334	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.80	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	214.83	350.00	176.00	176.00	176.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として各地区代表区長が出席）にて審議
実行	—
評価、検証	一般市民及び各種交通利用者向けアンケートで、公共交通に関する意向調査を実施。つくば市公共交通活性化協議会にて審議

## 指標の推移

指標名	指標 9 項目の達成割合 ( % )					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	55.5	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標 9 項目の達成割合（R02年度で計画は終了）						

2	指標名	指標 1 4 項目の達成割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14.2	14.2	28.6
	指標の概要	つくば市地域公共交通計画の関連指標14項目の達成割合 (R03年度は計画初年度のため評価実績なし)					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	バス運転士不足に対処するため、運転士採用支援に係る予算を令和7年度当初予算に計上した。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査を実施 1,024件回答 (回答率34.1%)</li> <li>目標達成の進捗状況をつくば市公共交通活性化協議会に諮り、国交省へ報告</li> <li>令和7年4月からつくたくAIオンデマンドシステムを導入することについて、つくば市公共交通活性化協議会に諮り、承認を得た。</li> </ul>	
課題	業務	バス運転士不足は未だ解消しておらず、民間路線バスとつくバスの重複箇所を解消することで、効率的な交通網を検討する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	第2次つくば市地域公共交通計画 (令和8年度～) の策定に取り組み、全国的なバス運転士不足に対応するため、民間路線バスとつくバスの重複箇所の見直しを行う。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	令和7年度は、令和8年度以降の第2次つくば市地域公共交通計画の策定と取り組むとともに、バス路線の見直しの検討を実施する。	

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	571 つくばエクスプレス利便性向上事業					
予算科目	01-080411-13	つくばエクスプレス利用促進に要する			担当部課	都市計画部総合交通政策課
市長公約					係名	政策係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	158	158	369	369	369	
	決算額	(千円)	124	153	70	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	124	153	70	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	703	1,176	1,532	2,503	2,503	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.35	0.35
		正職員時間外勤務	(時間)	9.00	200.00	35.00	35.00	35.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	つくばエクスプレス 4 駅の 1 日平均利用者数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	34,300.0	21,000.0	24,800.0	30,200.0	33,700.0	35,000.0
	指標の概要	4 駅（つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅）の 1 日平均利用者数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	T X沿線都市連絡協議会として、20周年を記念した「るるぶ特別編集版」の制作に協力した。なお、令和7年度も引き続き制作に協力する。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が参画するT X沿線7市区首長懇談会から首都圏新都市鉄道(株)へ要望書提出</li> <li>・茨城県T X三市推進協議会を解散(役割はT X沿線7市区首長懇談会に吸収)</li> <li>・T Xと都心部臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会の設立</li> <li>・つくばエクスプレス4駅の1日平均利用者数は35,000人</li> </ul>	
課題	業務	東京駅への延伸及び臨海地域地下鉄との接続事業等の推進を引き続き要望していく。
	組織、予算等	
改善目標	沿線自治体による利用促進PR活動の実施	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	164 茨城県自治体連携型自家用有償旅客運送事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	政策係、管理係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	実施計画（地域連携で移動の足を確保するためのモビリティサービス基盤の構築）			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	道路運送法第78条第2号			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	地域公共交通が抱えるドライバー不足をはじめとする交通課題の解決に向けて、自治体間で連携し地域の移動の足を確保するためのモビリティサービス基盤を構築する。
概要 (取組内容)	<p>運転士不足などの公共交通の共通課題を解決するため、茨城県4自治体（つくば市、土浦市、下妻市、牛久市）で連携し、以下のモビリティサービス基盤を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1種免許を含むドライバーの獲得、育成、管理を担うプラットフォーム「ドライバーバンク」</li> <li>・ドライバーバンクに登録されたドライバー情報と連携し、効率的な運行を可能にする「配車アプリ」</li> </ul> <p>上記を活用した自家用有償旅客運送事業を4市ごとに行うことで、将来的なドライバーの拡充及び地域公共交通の維持・拡大を目指す。</p>

## コストの推移

項目		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	335,380	77,899	77,899	
	決算額	(千円) 0	0	277,583	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	0	218,950	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	58,633	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	0	7,664	3,668	3,668	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.00	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	176.00	88.00	88.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	桜ニュータウンで住民説明会を6回開催。
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	Webアプリ登録者に対してアンケート調査を実施。

## 指標の推移

指標名	利用者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	600.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	53.0
指標の概要	ユニークユーザー数（4市合計値）					

2	指標名	リピート率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0
	指標の概要	初回利用者が翌月も複数回の利用を継続する割合 (4市合計値)					
3	指標名	満足度 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.0
	指標の概要	利用者アンケートで「満足」と回答する割合 (4市合計値)					
4	指標名	継続利用意向 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.0
	指標の概要	利用者アンケートで継続利用意思を示した割合 (4市合計値)					
5	指標名	登録ドライバー数 ( 人 )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
	指標の概要	ドライバーバンクに登録されたドライバー数 (4市合計値)					

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	—	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4市共通のプラットフォーム「ドライバーバンク」を構築し、88名のドライバーを登録（バックアップドライバー12名を含む）。</li> <li>・令和7年1月27日から「地域連携公共ライドシェア」の運行を開始し、交通空白地となる「桜ニュータウン」及び「筑波山」に新たな移動手段を提供。</li> </ul>	
課題	業務	地域公共ライドシェアの利用件数が少なく、新しい交通サービスの利用方法の周知や需要の掘り起こしが不足。
	組織、予算等	事業に対する市の財政負担が高い。
改善目標	各エリアごとのターゲットに対して適切な広報施策を実施し、設定したエリア・時間帯での需要の掘り起こしを図る。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	縮小	
理由	令和7年度以降は、令和6年度に構築したドライバーバンク及び配車アプリを活用し、地域連携公共ライドシェアの運行管理業務のみとなるため、事業規模は縮小となる。	

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	016 路線バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	1	路線バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	事業者が収益の見込みがあると判断しているが、実施に踏み込めない路線について、市が、実証実験事業として、事業が軌道に乗るまでの運用費を負担する（R04年度から）。
概要 (取組内容)	関東鉄道松代南循環新設：宅地造成が進む「松代五丁目」を対象とした新規路線を運行することで、松代五丁目やバス空白地域の移動手段を確保する。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	7,561	21,588	16,641	16,641	16,641	
	決算額	(千円)	0	12,573	10,009	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	12,573	10,009	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,163	2,191	768	2,116	2,116	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.10	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	48.75	48.75	18.00	18.00	18.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議

## 指標の推移

1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	53,436.0	53,436.0	53,436.0	0.0	0.0	0.0
	実績	79,236.0	58,469.0	64,951.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数 (R03年度末で終了)					

2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	11,967.0	11,967.0	11,967.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,960.0	10,319.0	12,170.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線(つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由)の利用者数(R03年度末で終了)					
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16,276.0	16,276.0	16,276.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,075.0	21,825.0	26,218.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数(R03年度末で終了)					
4	指標名	石下・土浦線の1日当たり利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	4.8	4.9	0.0
	指標の概要	石下・土浦線新設バス停の1日当たり利用者数(R04年度初から運行開始R05年度末終了)目標値達成したため、R06年度以降は民間事業者が継続運行予定。					
5	指標名	松代南循環の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	50,232.0	100,188.0	99,912.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14,212.0	42,034.0	52,924.0
	指標の概要	松代南循環の年間利用者数(R04年10月から運行開始)1日23便、運賃単価210円で試算					

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	損益分岐点に達していない松代南循環の利用促進策として、手代木小学校児童を対象にキャンペーンを実施	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の松代南循環の利用者数は52,924人で、1便当たりの平均利用者数は6.3人であり、損益分岐点となる利用者数14人を下回っている。</li> <li>実験期間を6か月(令和8年3月31日まで)延長した。</li> </ul>	
課題	業務	実験を終了した場合、南部シャトルで対応する等の対応が必要になる。
	組織、予算等	
改善目標	松代南循環の1便当たり利用者数14人に向けて、利用促進を図っていく。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	2	コミュニティバス「つくバス」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。
概要 (取組内容)	11路線において、平日274便/日、休日213便/日、年間365日コミュニティバスを運行する。 つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組みを行う。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	411,846	374,780	333,874	333,874	398,874	
	決算額	(千円)	350,971	316,024	254,015	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	350,971	316,024	254,015	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,351	12,524	3,832	3,668	3,668	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	1.80	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	37.75	37.75	88.00	88.00	88.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座により市民のつくバスに関する理解を促進
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議

## 指標の推移

指標名	コミュニティバス利用者数 (人/年)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	1,000,000.0	1,010,000.0	1,020,000.0	1,030,000.0	1,040,000.0	1,053,000.0
	実績	994,202.0	646,036.0	738,118.0	981,786.0	1,132,827.0	1,125,821.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) コミュニティバス「つくバス」の利用者数 (全路線累計) ※目標値は令和元年度から設定						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	バス運転士不足への対応として、令和7年度当初予算で運転士確保のための予算を計上した。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度つくバス利用者数1,125,821人（前年度比0.62%減）</li> <li>令和6年10月に西部シャトルを2路線に分割（西部及びみどりのシャトル）</li> <li>荃崎窓口センターバス停のロータリーをバス専用を整備</li> </ul>	
課題	業務	・路線バスとつくバスで重複路線が散見されており、効率的な輸送と民業圧迫回避の観点から対策を要する。また、バス運転士不足は継続しており、令和5年度の減便から戻す見込みが立っていない。
	組織、予算等	
改善目標	つくば市公共交通活性化協議会の審議を通じて、課題解消を図る路線のあり方の検討を進める。バス運転士の充足率が100%になるよう各種支援を行う。	

### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

### 方向性

方向性	継続	
理由	運賃収入が好調である一方、バス運転手の人件費やバスの燃料費等の経費が上昇傾向にあり、事業費は同様となる見込である。	

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	3	デマンド型交通「つくタク」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	バスへの接続及び交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保。
概要 (取組内容)	市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～17時にデマンド型交通を運行する。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	147,804	153,025	158,772	183,523	183,523	
	決算額	(千円)	147,804	153,025	158,911	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	147,804	153,025	158,911	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,285	8,401	15,324	14,665	14,665	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	46.25	46.25	351.00	351.00	351.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座によりつくタクに関する市民の理解を促進
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて計画の指標達成状況等を評価・検証

## 指標の推移

1	指標名	デマンド型交通利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0
	実績	53,887.0	41,071.0	44,380.0	48,789.0	48,552.0	48,019.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数 ※目標値はつくば市地域公共交通計画から設定					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	高い財政負担に対応するため、回転率が高まるA I オンデマンドシステムを導入	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度つくタク利用者数48,019人（前年度比1.1%減）</li> <li>A I オンデマンドシステムの導入を前提としたプロポーザル方式入札を実施し、令和7～9年度のつくタク運行受託者を決定し、契約を締結</li> </ul>	
課題	業務	つくタクの事業費167,336千円に対して運賃等収入は8,564千円であり、収支率は5.1%である。これは県内周辺自治体の中でも最低の水準であり、運賃の改定等の対策が急務である。
	組織、予算等	事業費から運賃等収入を差し引いた額の割合（財政負担率）が94.9%に達しており、制度を含めた抜本的な検討を要する。
改善目標	財政負担率の改善を図るため、アンケート調査を実施し、運賃の見直し等を検討する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	システム費用や車両の借上料が増額しており、事業費が拡大する見込みである。	

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	015 支線型交通運行事業（旧：支線型バス実証実験事業）					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	4	支線型バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	筑波地区の既成市街地である北条と周辺地区の集積エリアを結び、日常生活に必要な地域の移動を担う支線交通として運行する。
概要 (取組内容)	<p>コース：筑波ふれあいの里入口～筑波中央病院</p> <p>運行時間：概ね8時から18時まで（12/29～1/3を除く毎日運行）</p> <p>運賃：200円均一</p> <p>車両：10人乗りワゴン車2台</p> <p>運行便数：1日16便（3/1～11/30のみ1日17便に増便）</p>

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	48,932	29,011	26,905	41,905	26,905	
	決算額	(千円)	12,959	26,278	26,058	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,959	26,278	26,058	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,022	5,088	768	2,201	2,201	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.10	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	104.25	104.25	18.00	53.00	53.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議
実行	—
評価、検証	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

## 指標の推移

指標名	年間利用者数 (人)					活動結果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	15,840.0	15,840.0	15,840.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5,749.0	4,662.0	4,976.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス(実証実験)」の年間利用者数(R03年度末で実証実験は終了)						

2	指標名	年間利用者数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	2,816.0	5,760.0	5,744.0
	実績	0.0	0.0	0.0	2,469.0	6,138.0	7,171.0
	指標の概要	(Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス(本格運行)」の年間利用者数(R04年10月から運行開始)					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	1 便当たり 1 人以上の目標値を達成したことで、国の補助金を活用できる見込みが立った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度利用者数7,171人</li> <li>・1 便当たり利用者数1.20人</li> </ul>	
課題	業務	地域や来訪者の需要を取り込み、利用者数の増加を図っていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	1 便当たり利用者数1.00人以上を継続する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	043 MaaS等の活用検討						担当部課	都市計画部総合交通政策課
予算科目	01- - 一般会計						担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 政策係
市長公約								
戦略プラン	II-5	1	5	MaaS等の移動サービスを活用したモビリティ			新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
根拠法令等							SDGs	11住み続けられるまちづくりを

## 事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	公共交通の利用促進を図るため、多彩な交通手段を予約から決済まで可能なMaaS等の活用を検討する。
概要 (取組内容)	民間企業が構築を進めているMaaSのプラットフォームを研究し、連携を検討する。また、既存の経路検索サイトへつくバス時刻等のオープンデータを積極的に提供する。

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	681	691	768	390	390	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	18.00	18.00	18.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	経路検索サイトへのデータ提供数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	3.0	2.0	4.0	5.0	5.0	5.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) NAVITIME等の経路検索サイトへのデータ提供数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市及びスマートシティ協議会が参画するつくばハンズフリーチケット共同事業体の事業に協力	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくスマアプリ上に、公共交通の情報を適宜更新し公開。</li> <li>GTFSデータリポジトリサイトにつくバス及びつくばね号のGTFSデータを公開。</li> </ul>	
課題	業務	
	組織、予算等	スマートシティ協議会との連携強化
改善目標	スマートシティ協議会との連携を強化し、MaaSに関する事業の推進をする。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—